



オートエクゼ ブレーキライン
取付け及び取り扱いマニュアル

部品番号	M E R 5 4 0
登録番号	
車名 車種	マツダ CX-7
型式(グレード)	CBA-ER3P (2300cc turbo)
備考	全車対応
取付け上の注意	※当マニュアル内にある取付け説明書に従って、正しく装着して下さい。

～お客様へ～

- ※ 当製品をお買い上げいただきまして誠に有難うございます。
- ※ 取付け作業をはじめる前に必ず当マニュアルを最後までお読みください。
- ※ 当マニュアルは製品装着後も大切に保管して下さい。又、当製品を譲渡する際には製品と共に製品認定書・マニュアルも一緒に譲渡して下さい。
- ※ 当製品はノーマルの車両を基準にデータ取りされております。極端に太いタイヤ、ホイールを装着した車両や、車高及びサスペンションを変更した車両に取り付けますとトラブルの原因となる可能性がありますのでご注意下さい。

オートエクゼブレーキラインは、各車種(型式別)ごとの専用設計となっておりますので適合以外の車種(型式)には使用できません。十分に注意してください。



- ・オートエクゼブレーキラインは重要保安部品です。
- ・オートエクゼブレーキラインの取り付けは、認証工場等、資格のある専門店で行って下さい。
- ・取り付け不良、エア抜き不良によるクレーム又は故障・事故による損害について、当社は一切の責任を負いません。

取り付ける前に



・オートエクゼブレーキラインは、各車種(型式別)ごとの専用設計となっておりますので、取り付ける前に品番と装着車種が適合しているか必ず確認して下さい。



・オートエクゼブレーキラインは、各車種(型式別)ごとの専用設計となっております。適合車種以外への取り付けや加工は絶対に行わないで下さい。



・オートエクゼブレーキラインは、ノーマルの車両を基準に設計されています。極端に太いタイヤ、ホイールを装着した車両、車高、サスペンションを変更した車両に取り付けますとトラブルの原因となります。必ず事前に確認し、十分に注意して下さい。

安全に作業を行うために



・純正ブレーキホースの取り外しは、認証工場などで行って下さい。その際は、『自動車メーカー発刊の整備書』に従い確実に作業を行って下さい。



・走行後は、ブレーキローター、キャリパー、ブレーキドラム等が、非常に高温になっています。防具手袋を着用の上、十分に冷えてから作業を行って下さい。



・車両をジャッキアップする際は、エンジンを停止し、周囲の安全を確保の上、平坦な場所で行って下さい。又、必ずメーカー指定位置にてジャッキアップし、リジットラックを使用して下さい。



・車両をリフトアップする場合は、必ずメーカー指定位置にてリフトアップし、安全装置を掛けて下さい。



・本製品を確実に取り付けするために、取り外す全ての部品の状態や位置を確認し、取り付け状態を覚えておいて下さい。



・純正ブレーキホースを取り外す前に、インナーフェンダーやブレーキホース取り付け部周辺のゴミや錆を取り除いて下さい。



・一部の車種について、純正ブレーキホースとは、長さ、形状、取り付け方法、レイアウトが異なる場合がございます。必ず取り付け説明書に従い正しく装着して下さい。



・各部のボルト・ナットは『自動車メーカー発刊の整備書』に記載されている指定工具、指定トルクにて取付けして下さい。



・フレアナットを緩める際は、必ずメーカーの指定する専用工具を使用して下さい。



・バンジョー(ユニオン)ボルト、フレアナットを締め付ける際は、指定のトルクに従って下さい。又、必ずトルクの確認を行って下さい。

安全に作業を行うために



注意

・銅ワッシャ、Eリング(一部車種のみ)は必ず付属のものを使用し、再使用はしないで下さい。
また、一部車種については純正のウェイブクリップ(ロックプレート)を付属の物と交換して下さい。



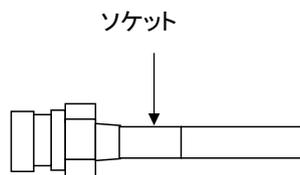
注意

・純正のパンジョーボルト(ユニオンボルト)、ウェイブクリップ(ロックプレート)を再使用する場合、取り付ける前に必ず洗浄、点検して下さい。損傷等の異常がある場合には、新品の物を使用して下さい。



警告

・ブレーキラインを取り付ける時に、フィッティングのソケット部分を緩めたり、回したりしないで下さい。フルード漏れの原因となります。



警告

・フレアナット先端部分が、図1のように変形している場合は必ず、図2のような正常な状態に修正、又は新品に交換してから締め付けて下さい。無理に締め付けますと、フレアナット、フィッティング共に破損する場合があります。

図1 変形

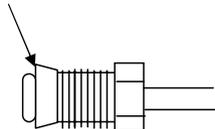
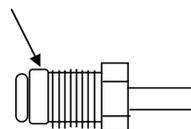


図2 正常



取り付ける前に



警告

・取り付け後、各部品が正しく取り付けられているか確認して下さい。また、ステアリングを左右に切った際にブレーキラインがボディ、サスペンション、ドライブシャフト等に干渉していないか、無理なネジれが無い確認して下さい。

エア抜き作業について



警告

・エア抜き作業の手順は各メーカー、車種によって異なります。『自動車メーカー発刊の整備書』に従って正しく行って下さい。特にブレーキアシスト、ABS、ALB付きの車両は、専用の設備が必要な場合がありますので注意して下さい。



注意

・抜き取ったブレーキフルードは再利用しないで下さい。トラブルの原因となる場合があります。



注意

・ブレーキフルードはボディなどの塗装面に付着させないように注意して下さい。万一、付着した場合は素早く拭き取り、水洗いして下さい。



注意

・エア抜き作業終了後、ブレーキパーツクリーナー等で、ローターや、キャリパー、及びブレーキラインに付着したブレーキフルードを洗浄して下さい。



注意

・タイヤを取り付けた後、再度ステアリングを左右に切り、ブレーキラインがタイヤ、ホイールに干渉していない事を確認して下さい。



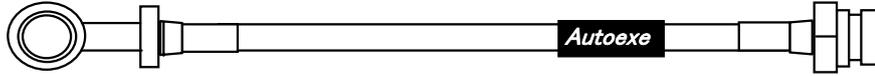
注意

・純正ブレーキホースと比べ踏みしろが少なくなりますので、車両によってはストップランプの点灯タイミングが変化する場合があります。ブレーキペダルを踏んで、正常に点灯するか確認して下さい。

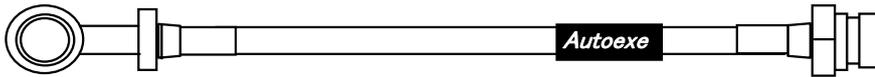
M E R 5 4 0

(オートエクゼブレーキライン構成部品) 破損・欠品等が無いか確認して下さい。

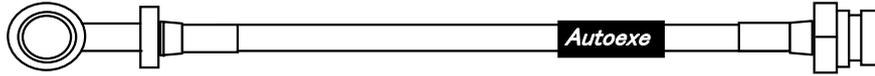
① FRONT RIGHT × 1



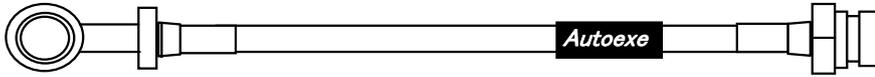
② FRONT LEFT × 1



③ REAR RIGHT × 1



④ REAR LEFT × 1



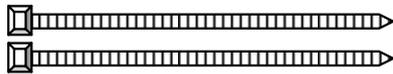
⑤ 銅ワッシャー × 8



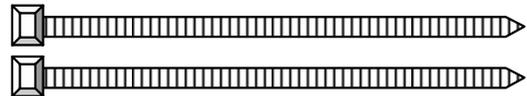
⑥ 中間止め × 4



⑦ タイラップ 小 × 8



⑧ タイラップ 大 × 8

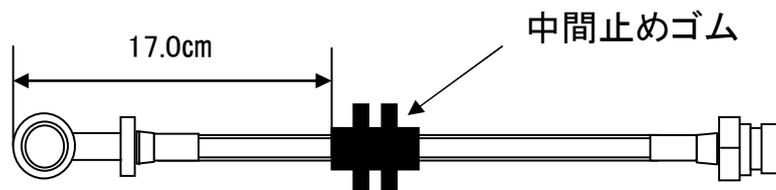


フロントブレーキホースの取り付けについて

取付けの際、周辺機器に干渉しないよう、注意してください。

【1】中間止め位置の指定

・ 右図の位置に付属の中間止めゴムを固定します。その際、付属のタイラップ小を使用します。



【2】メスアダプター(ボディ側)の取り付け

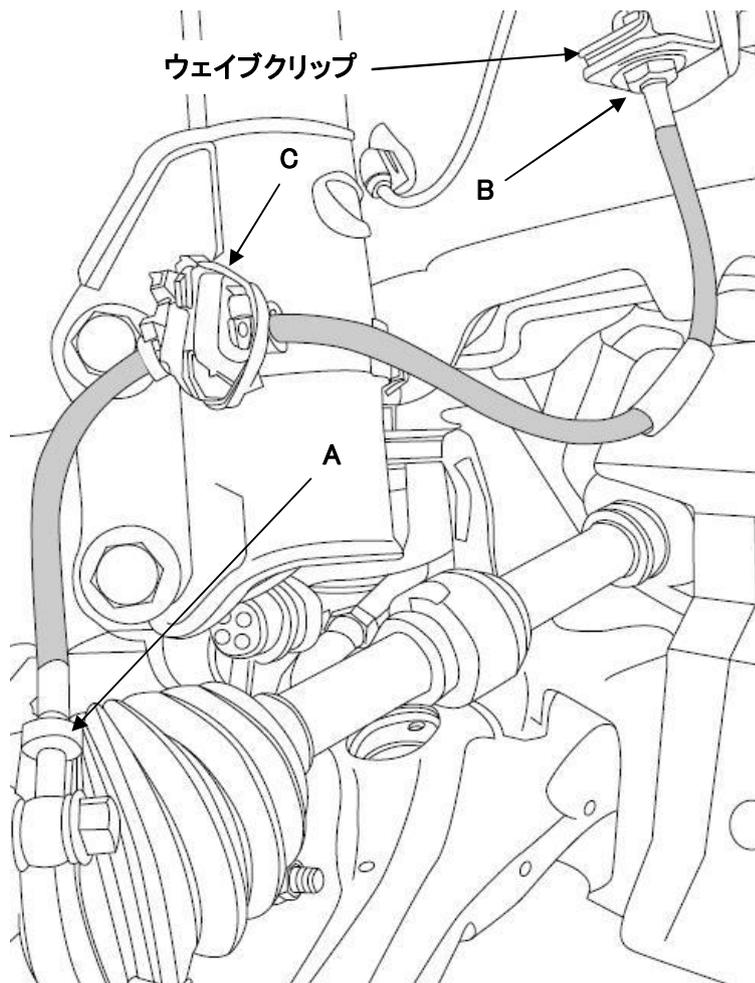
・ (B)のメスアダプターを車体側ブレーキホースホルダーにセットします。そして、フレアナットを仮締めします。

※ホルダーは五角形になっています。しっかりとセットされていないと、ウェイブクリップでの固定が出来ませんので注意して下さい。

・ 純正のウェイブクリップを使用して、車体側ホルダーに固定します。

・ 仮締めしたフレアナットを、 $1.8\sim 2.3\text{kgf}\cdot\text{m}$ のトルクで締め付けます。

※フレアナットの締め付けは、必ずフレアナットレンチ(専用工具)を使用してください。



【3】バンジョーアダプター(キャリパー側)の取り付け

・ (A)のバンジョーアダプターを付属の銅ワッシャーと純正バンジョーボルトを使用して取り付けます。

・ その際、右下の図を参考にホースがねじれないよう、純正と同じ角度で取り付け、 $1.8\sim 2.3\text{kgf}\cdot\text{m}$ のトルクにて締め付けます。

※ キャリパーの回り止め穴は使用しません。

【4】中間止めの固定

【1】で取り付けした中間止めにタイラップ(大)を用いて、ストラットケースのブレーキホースホルダー(C)に固定します。その際、タイラップをタスキ掛けにしっかりと固定します

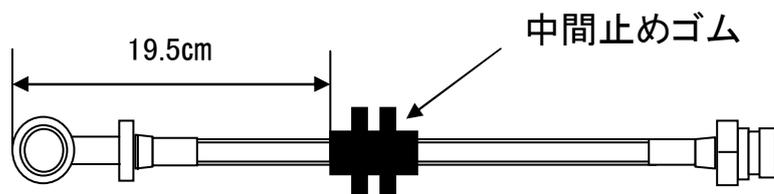
注) 規定トルクでフレアナットを締め付けても、オイルにじみ・漏れ等が発生する場合には、フレアパイプ先端部分の変形が考えられます。正常にシールする様に、フレアナットの増し締め又は、フレアパイプの修正、交換を行ってください。

リアブレーキホースの取り付けについて

取付けの際、周辺機器に干渉しないよう、注意してください。

【1】中間止め位置の指定

・右図の位置に付属の中間止めゴム、ネオプレン管を固定します。その際、付属のタイラップ小を使用します。



【2】メスアダプター(ボディ側)の取り付け

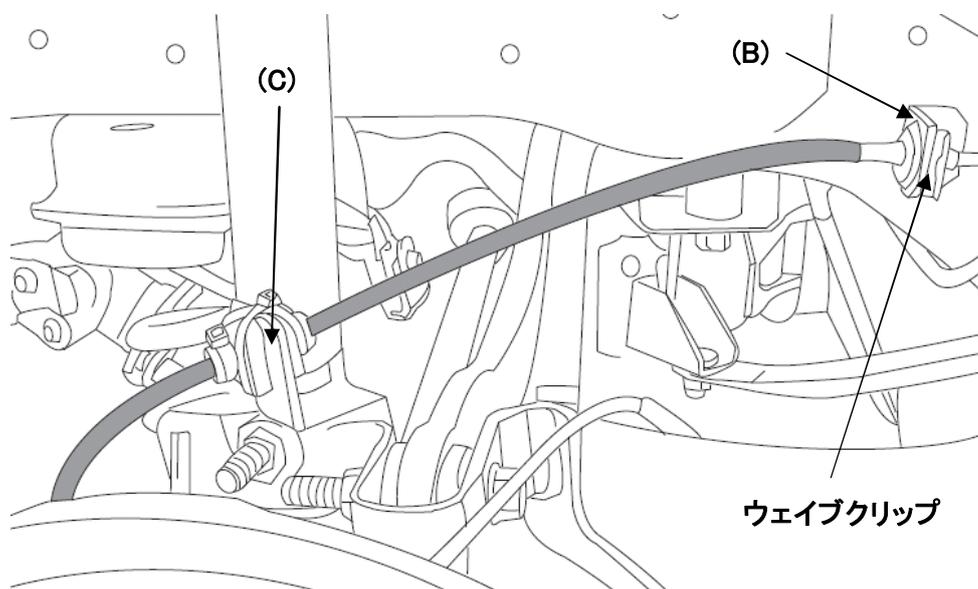
・(B)のメスアダプターを車体側ブレーキホースホルダーにセットします。そして、フレアナットを仮締めします。

※ホルダーは五角形になっています。しっかりとセットされていないと、ウェイブクリップでの固定が出来ませんので注意して下さい。

・純正のウェイブクリップを使用して、車体側ホルダーに固定します。

・仮締めしたフレアナットを、 $1.8\sim 2.3\text{kgf}\cdot\text{m}$ のトルクで締め付けます。

※フレアナットの締め付けは、必ずフレアナットレンチ(専用工具)を使用してください。



【3】バンジョーアダプター(キャリパー側)の取り付け

・(A)のバンジョーアダプターを付属の銅ワッシャーと純正バンジョーボルトを使用して取り付けます。

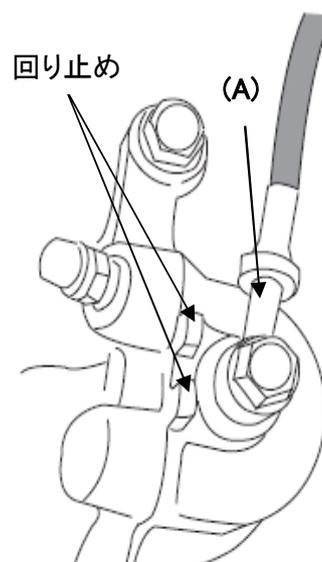
・右下の図を参考に純正と同じ角度で取り付け、 $1.8\sim 2.3\text{kgf}\cdot\text{m}$ のトルクにて締め付けます。

※キャリパーの回り止めは使用しません。

【4】中間止めの固定

【1】で取り付けした中間止めにタイラップ(大)を用いて、ブレーキホースホルダー(C)に固定します。

その際、タイラップをタスキ掛けにしっかりと固定します。



注) 規定トルクでフレアナットを締め付けても、オイルにじみ・漏れ等が発生する場合には、フレアパイプ先端部分の変形が考えられます。正常にシールする様に、フレアナットの増し締め又は、フレアパイプの修正、交換を行ってください。